

3歳児の子どもの育ち

3歳児の姿

基礎的な運動能力の成長

基礎的な運動能力が育ち「歩く」「走る」「とぶ」「押す」「引っ張る」「投げる」「転がる」「ぶらさがる」「またぐ」「蹴る」などの基本的な動作ができるようになることがうれしく、何度もしようとする。

体の動きのコントロール

遊具や用具は周囲の環境に気を付けて安全に使ったり、大切なものは丁寧に扱ったりする。危険な場所で遊ぶ場合は、他者の動きを意識しながら動かそうとする。

3歳児動きと遊具

鉄棒

発達が見込まれる動作

- ① 両手で握り、ぶらさがる
- ② 体をゆらす
- ③ ぶらさがりながら、足を持ち上げる



マット

発達が見込まれる動作

- ① 相撲ごっこで押し合う
- ② でんぐり返しやコロコロ転がる
- ③ ものを引っ張り合う



一本橋

発達が見込まれる動作

- ① 慎重に横歩きする
- ② またいで、前に進む
- ③ 自分の体を引きながら前に進む



遊具と子どもの姿

01

鉄棒

ぶらさがる



「ぶたの丸焼き」も複数の動きを引き出す立派な技。その子の「やってみたい」ことから鉄棒に親しもう。

足を持ち上げる



「こうしてみたい」「こうやるとどうなるの」子どもの好奇心や試行錯誤から新たな動きが引き出される。

02

マット

相撲をする



「はっけよい、のこった!」。保育者や友だちが行司の役割をすることでごっこ遊びとして遊びが発展する。

転がる



技能にこだわらず「転がる」面白さや気持ち良さを、友だちや保育者と共有できることが楽しい。

03

一本橋

横歩きする



「横歩きをする場所」ではなく、「横歩きに挑戦したくなる場所」として設定することが大切。

体を遊具に引き寄せる



歩いても、下をくぐっても、ぶらさがっても良いという大人の意識が大切。